



市建第1373号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

市貝町長 小 林 利



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号でご依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答いたします。

市貝町役場建設課
管 理 係
Tel 0285-68-1117

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

1. まだまだ未整備の地方道路

都市部での道路整備はほぼ終わっていると思いますが、地方部ではこれからが本当の道づくりに入るところです。国道でさえ歩道が無く、子ども達は毎日危険にさらされており、早速な整備が必要です。ましてや、町道においては重要な道路も幅員が狭く、交互通行ができない状況です。

2. 実態にあった道路構造令の策定

都市部と地方では、必要な道路構造（歩道幅員等を含くんだ）は必ずしも一致しない。道路構造は、その地域での要求されるもので築造されるべきと思うが。

3. 人に優しい道路づくり

歩道橋は、老人や障害者には利用が困難である。歩行者が優先される道路づくりを進める必要がある。

②地域の現状と抱える課題

○現状

当町は、東京より100km圏にあり、宇都宮市から24kmのところに位置しており、国道123号は南部地区を横断している。

北関東自動車道路には真岡ICが最寄りとなっているが、距離は県都宇都宮市と同じ24kmである。

県道においては、主要地方道宇都宮茂木線が町の中心部を横断しており、平成24年にはバイパス工事も完工する運びとなっている。

しかしながら、その他の県道（主要地方道宇都宮向田線、真岡烏山線、一般県道黒田市塙真岡線、塙上根線、上根北長島線、杉山石末線、芳賀茂木線）はまだ改良工事も不十分であり、歩道も未整備な箇所が多々ある。

町道は総数で302路線あり、改良率は80.87%で、舗装率は81.36%である。

町の観光名所である「芝ざくら公園」への道路は、時期ともなるとかなりの混雑である。

○課題

当町は、地形的条件から、等高線に沿って大きく迂回する形状の道路が多く、通過時間のロスにつながっているほか、狭小な道路も多い。

今後、広域幹線道路や町内幹線道路、地区内生活道路の計画的な整備を進める必要がある。

また、歩車道の分離による安全確保、高齢者や障害者・子どもに配慮した道づくり、道路緑化や花いっぱい運動による景観の整備、災害に強い道づくりなど、生活環境の質的な向上も課題です。

また、観光名所「芝ざくら公園」へのアクセス道路（県道も含めた）の整備が課題となっている。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

1. 道路網の整備

- ① 当町と首都圏一円との時間距離の大幅な短縮を図るため、北関東自動車道の早期整備。
- ② 当町の主要な東西交通軸となる主要地方道宇都宮茂木線市貝バイパスの早期完工とともに、圃場整備事業と並行しながら、域内交通の円滑化を図る幹線道路の整備・改良の促進
- ③ 町民ニーズを勘案しながら、集落環境の改善や産業の振興に結びつく路線整備を順次計画し、事業化を図る。

2. 道路環境の向上

- ① 通過車両や観光客の増大に対応して、わかりやすいサインによる誘導。
- ② 段差の解消、歩道の設置などにより、高齢者・子どもに配慮した道づくり。
- ③ 景観に配慮したガードレールの導入などにより、うるおいのある道路景観づくり。
- ④ 法面の保護対策などにより、災害に強い道づくり。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

特にありません			
---------	--	--	--